

第20回 いきいき市民のつどい

つながろうすべてを越えて ～共に学び、語りあおう～

【日時】 平成30年1月27日（土） 午後1時30分～3時30分

【会場】 市立産業会館（別所町3丁目13-26）



【主催】
岸和田市・岸和田市教育委員会

【企画・運営】
岸和田市生涯学習推進本部



目 次

1.	「いきいき市民のつどい」の様子	2
2.	開催要項	4
3.	開会のことば	5
4.	主催者あいさつ	6
5.	司会、コーディネーター紹介	7
6.	オープニング	7
7.	活動発表団体 プログラム	11
8.	活動発表	
	・ 岸和田市青年団協議会（市青協）	13
	・ NPO 法人ここからKit with 岸和田 Mammy's サポーター #きし♡ふぁみ	19
	・ 岸和田シティプロモーション推進協議会（kcp）	27
9.	茶話会	35
10.	資料編	37
	・ アンケート集計結果	38
	・ 自己紹介カード集計	40
11.	「いきいき市民のつどい」チラシ	43

「いきいき市民のつどい」の様子

開 場



受付の様子

開 会 行 事



開会の様子



開会のことば



主催者あいさつ



司会、コーディネーター

オープニング

久米田高等学校ダンス部



「パッション」



「チャンピオン」



「瞬華（しゅんか）」

活動発表



岸和田市青年団協議会

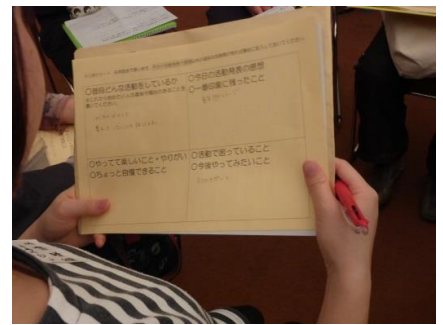
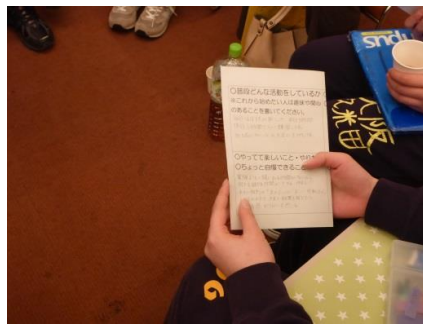


NPO 法人ここからKit with
岸和田 Mammy's サポーター#きし♡ふあみ



岸和田シティプロモーション
推進協議会

茶話会



開催要項

- 1 開催趣旨 生涯学習のまちづくりを市民ぐるみで推進するために設置された生涯学習推進本部。みなさんと生涯学習について考え、連携と協働による社会的ネットワークの構築をめざす学習と交流の場として毎年「いきいき市民のつどい」を企画・運営しています。
- 2 全体テーマ 「つながろう すべてを越えて ～共に学び、語りあおう～」
- 3 内 容 どうして熱くなれるのか!? 岸和田のまちを盛り上げるために活動されている3つの団体が、日ごろの活動の思いをみなさんに届けます。後半では、カフェ気分で気軽にまちづくりや担い手づくりについてみんなで語りあいます。
- 4 主 催 岸和田市・岸和田市教育委員会
- 5 企画・運営 岸和田市生涯学習推進本部
- 6 開催日 平成30年1月27日（土）午後1時30分～3時30分
- 7 会 場 市立産業会館（別所町3丁目13-26）
- 8 参加対象者 興味のある方
- 9 参加費 無料
- 10 オープニング 久米田高等学校 ダンス部
- 11 活動発表
- ・岸和田市青年団協議会 みやぐち りょう 宮口 諒 氏、うへだ ゆうき 植田 優生 氏
 - ・NP0 法人ここからKit with 岸和田 Mammy's サポーター #きし♡ふあみ
（「子育てが楽しくなるまちをつくろう」プロジェクト！チーム）
はせがわ ひでみ 長谷川 秀美 氏、いずみ まや 泉 真耶 氏、しおづか じゅんこ 塩塚 順子 氏、もりもと りょうこ 森本 涼子 氏、
まきた さおり 槇田 沙織 氏
 - ・岸和田シティプロモーション推進協議会（kcp）ささべ みちよ 笹部 美千代 氏
 - ・司会、コーディネーター 岸和田市社会福祉協議会 あおやま おりえ 青山 織衣 氏
- 12 茶 話 会 1 グループ約6人に分かれて語り合う
- 13 スケジュール

13:00 13:30 13:45 14:00 14:45 15:30

受付	オープ ニング	開会 行事	活動発表	茶話会	閉会 フリー交流会
----	------------	----------	------	-----	--------------

開会のことば

岸和田市生涯学習推進本部 委員長

こうづき まさひろ
上月 正洋

上月です。岸和田市生涯学習推進本部を代表してご挨拶をいたします。

今年は20回目ということで、委員の皆さんの発案で趣向を変えてみました。

去年は、生涯学習審議会会長の神戸大学大学院の松岡広路先生のお話を聞きながらグループワークをしました。今年はそこからさらに学ぶため、子育て中の方や青年団協議会の方にも参加していただき、若い方たちを交えた会を企画しました。なかなかいろいろな世代にお集まりいただくのは難しくて、どうしても年配の方々の集まりになりがちでしたが、今年は若い方にも参加していただいて、この会も盛り上げていきたいです。

皆さん、同じ岸和田に生きる人たちとして、この市を少しでもよくしていきたいと考えてお集まりいただいていると思います。若い方から年配の方まで含めて、住んでよかったと思える岸和田のため、今日は大いにお話を聞いて、お互いその後の茶話会で語り合いながら、新たな出会いとつながりができたら良いという思いを込めて、この会を開催します。

今日は、中間支援という仲人さんのような人と人をつなげる立場として、岸和田市社会福祉協議会ボランティアセンターで仕事をされている青山さんにコーディネーターをお願いしています。

では、本日よろしくお願い致します。

ありがとうございます。



主催者あいさつ

岸和田市長職務代理者副市長 おおはら よしてる 大原 好照

皆さんこんにちは、岸和田市長職務代理者副市長の大原です。

本日は「いきいき市民のつどい」を開催させていただいたところ、このようにたくさんの方々にお越しいただき感謝申し上げます。

また平素は、本市の生涯学習のまちづくりにご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この「いきいき市民のつどい」は、「年輪のつどい」として初めて開催してから、今回で記念すべき 20 回目を迎えました。生涯学習を市民と共に推進すべく組織した生涯学習推進本部の皆さん方のご協力を得て、毎年開催できています。この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございます。

本日のつどいでは、「つながろう すべてを越えて～共に学び、語りあおう～」をテーマに、岸和田のまちを盛り上げるために活動されている 3 つの団体の皆様方から、日頃の活動と活動に対する思いを発表していただきます。

本日のつどいが、皆さん方にとって実りの多いものになりますことを心から期待しております。

結びにあたり、開催のためにご苦労いただいた関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、皆様方の今後ますますのご活躍とご多幸をお祈り申し上げます。ご挨拶に代えさせていただきます。

ありがとうございました。



司会、コーディネーター

岸和田市社会福祉協議会ボランティアセンター主任 あおやま 青山 おりえ 織衣 氏



【プロフィール】

岸和田生まれ、岸和田育ち

現在にいたるまで同市在住。

平成 15 年 4 月に社会福祉法人岸和田市社会福祉協議会に入職。

平成 26 年度から岸和田市生涯学習推進本部委員に就任。

これまでに、ボランティアの協力による在宅福祉サービス事業、福祉教育推進事業、地縁型・テーマ型両方の市民活動支援を担当し、市民参加による地域課題解決を目指して日々市民と共に活動している。赤い羽根共同募金地区募金会の活動、地元の市民活動団体のファンドレイジング支援にも携わっている。

「市民の力を信じてどこまでも一緒にやりきる」をモットーに日々活動している。

オープニング

大阪府立久米田高等学校ダンス部



【プロフィール】

平成 29 年 3 月 ダンススタジアム 新人戦 優秀賞受賞

平成 29 年 8 月 第 10 回 日本高校ダンス部選手権

全国大会 ビッグクラス優秀賞 5 位

平成 29 年 12 月 大阪府高等学校芸術文化祭で最優秀賞

平成 30 年 4 月 岸和田市民体育祭開会式に岸和田・和泉・

岸和田産業・久米田高等学校

4 校合同参加予定

【第 20 回 いきいき市民のつどい演目】

・「パッション」

・「チャンピオン」

・「瞬華」※ しゅん か 大阪府の大会で優勝した作品

青山 氏： ただ今より、平成 29 年度生涯学習いきいき市民のつどいを開会いたします。
まず冒頭に、今年のつどいは一味違います。オープニングで、大阪府立久米田高等学校ダンス部の皆さんをお迎えします。では、久米田高等学校ダンス部の皆さん、どうぞ。拍手でお迎えください。

篠原 氏： こんにちは、久米田高等学校ダンス部です。私たちは総勢 45 名で、日本一を目指して日々頑張っています。今日お見せする 3 つの作品の 1 つめと 2 つめは 1 年生のダンスチームです。3 つめは大阪府の大会で優勝したものです。4 月に行われる岸和田市民体育祭では、4 校の合同で 1 時間の演目を行います。もしよろしければ見に来てください。今日はよろしくお願いします。

《オープニング演目》

1. 「パッション」
2. 「チャンピオン」
3. 「瞬華（しゅんか）」

青山 氏： 久米田高等学校ダンス部の皆さん、本当にありがとうございました。若さみなぎる全力のダンスでした。嬉しいことに、この後、最後まで私たちと一緒につどいに参加いただけるそうなので、また合流していただけたらと思います。

ご挨拶が遅くなりましたが、本日の司会進行を務めます岸和田市社会福祉協議会の青山です。よろしくお願いします。企画・運営をしている生涯学習推進本部のメンバーでもあります。今日一日よろしくお願いします。

それでは、今回のつどいの開催にあたり、岸和田市生涯学習推進本部委員長の上月より開会のことばを申し上げます。上月委員長、よろしくお願いします。

《開会のことば》

続いて、主催者を代表して岸和田市長職務代理者副市長よりご挨拶を申し上げます。よろしくお願いします。

《主催者あいさつ》

では、実践報告に参りたいと思います。

今回のつどいのテーマは、「つながろう すべてを越えて」ということで設定しています。テーマを決めるのにも、推進本部委員である各種団体の代表が集まってああでもない、こうでもないと言いながら、みんなで決めてきました。その中で、今岸和田のまちも高齢化が進んできて、いろいろな団体、町会や自治会、ボランティアグループや生涯学習団体など、担い手や後継者がなかなかいないと悩んでいるという課題があちこちから出てきました。

ただ一方で、今から登壇していただく若い青年団協議会の方は、岸和田にはお祭りがあり、岸和田に住み続けたいという若者が多いのも 1 つの強みであると思います。それに加えて、その後にご登壇いただく若い子育て中のお母さんたちの活動や、企業の経営者などが集まって、市民発で盛り上げていこうという新しい

動きがでてきている状況もあるわけです。

今日は、皆さんお集まりいただいて、ずっとまちを支えてきてくださった大先輩の皆さんが大勢いらっしゃいます。今回のつどいは、実践報告を聞いていただき、まず、若い力を感じてみんなで元気になりましょうということが、1つ大きなテーマとしてあります。その上で、岸和田はいろいろ大変な状況ですが、そこからわがまちをみんなで良くしていくにはどうやってつながっていけば良いかを、お話していけたらと思います。

これから3団体の話を聞いていただきますが、ぜひ、こんなところがすごく素敵だなということ、感想を書く欄がありますので、メモもしていただきたいと思います。「うちの団体でもそれ使えそう」とか、「こんなところで連携ができるかも、コラボできるかも」とイメージをしながら、お話を聞いていただけるといいと思います。

それでは、自己紹介を含めて、バトンタッチをしたいと思います。

岸和田市青年団協議会からお2人いらっしゃっています。よろしくお願いします。

活動発表団体 プログラム

●岸和田市青年団協議会（市青協）

～若者が地域で活動すること～

●NPO 法人ここからKit with 岸和田 Mammy's サポーター#きし♡ふぁみ

子育てが楽しくなるまちをつくろう！プロジェクト

●岸和田シティプロモーション推進協議会（kcp）

まちへの思いが、まちを動かす

活 動 発 表

岸和田市青年団協議会（市青協） し せいきょう

各町単位の青年団をまとめる地区ごとの連合青年団の集合体として、岸和田市青年団協議会があります。略して「市青協」です。昭和 26 年に発足し、現在 10 地区 64 町の青年団が加盟しています。青年団といえば「だんじり祭り」を連想される方が多いと思いますが、地域をより良くするために“祭り以外”でも様々な活動をしています。青年団や市青協の活動をもっと知ってもらい、自分のまちを「好き」といえる若者を増やしたいという熱い思いで活動しています。

岸和田市青年団協議会 会長 みやぐち りょう 宮口 諒 氏

【プロフィール】

昭和 63 年	岸和田市生まれ。
平成 24 年度	阿間河滝町 青年団団長（兼）市青協 常任委員
平成 25 年度	修斉校区連合青年団 団長（兼）市青協 副会長
平成 26～28 年度	岸和田市青年団協議会 副会長
平成 29 年度～	岸和田市青年団協議会 会長

阿間河滝町青年団 副団長 うえだ ゆうき 植田 優生 氏

【プロフィール】

平成 5 年	岸和田市生まれ。
平成 21 年度	阿間河滝町 青年団 入団
平成 29 年秋～	阿間河滝町 青年団 副団長

1



2

青年団って何だろう？

若者が地域でのスポーツや文化活動などを通じて、社会的・人間的に成長することを目的として、全国各地で結成された組織であり、社会教育関係団体に位置づけられています。活動の内容は、地域の実状に応じて様々です。

例えば・・・



新鹿町青年団(三重県熊野市)
ビーチバレー大会



珠洲市青年団協議会(石川県)
のど自慢大会



泉佐野市青年団協議会(大阪府)
田んぼの学校

このように全国で、地域で、色々な活動をしています。

3

市青協は岸和田市内の青年団の集まりです

○ 市青協・・・名称 岸和田市青年団協議会

○ 市青協の組織図

市青協 ← 各地区連合青年団 ← 日本青年団協議会

加盟する青年団 → 10地区64町

市青協の発足 → 昭和26年9月

みなさんは“青年団”に
どんな印象を持っていますか？

○○町青年団
○○町青年団
○○町青年団
○○町青年団
○○町青年団

4

岸和田市の青年団はちょっと変わってる？



岸和田市といえば「だんじり祭り」
地域で活動する青年団も祭り中心の団体
になっているところがほとんどです。

ほとんどの方が、

**青年団は
祭りをするための団体**

というイメージを持たれていると思います。
また地域自体が祭り中心に動いていることも
あり、なかなかそのイメージを払拭すること
が難しい。

“祭り”以外の青年団の活動って！？

5

市青協のこれまでの活動

○ 薬剤散布・・・6月に各町青年団にて害虫駆除の薬撒き

○ 災害の復旧支援・・・東日本大震災, 台風21号



東日本大震災(気仙沼市)



東日本大震災(南三陸町)



台風21号(大沢町・河内長野市)

6

市青協のこれまでの活動

○ 薬剤散布・・・6月に各町青年団にて害虫駆除の薬撒き

○ 災害の復旧支援・・・東日本大震災, 台風21号



東日本大震災(気仙沼市)



東日本大震災(南三陸町)



台風21号(大沢町・河内長野市)

7

市青協のこれまでの活動

○ 研修会・・・人権研修, 選挙制度講演会

○ 成人式, 夜警・・・新成人のお祝い, 年末の啓発パトロール



人権研修



選挙制度講演会



成人式

8

市青協のこれまでの活動

○ 研修会・・・人権研修, 選挙制度講演会

○ 成人式, 夜警・・・新成人のお祝い, 年末の啓発パトロール



人権研修



選挙制度講演会



成人式

9

ある町の青年団の取り組み 阿間河滝町青年団

青年団を知ってもらうために・・・
☆ TwitterやInstagram 等のSNS を使った広報活動
なぜ青年団に入る若者が減っているのか？

- 青年団の活動以外に楽しいことが世の中にたくさんある
- 周囲がもつ青年団へのイメージ

楽しそうな・入りたくなる青年団へ
祭りのイメージが強いのなら、だんじり祭りで
青年団の楽しさをアピールしていく



amagataki_seinendan 【青年団員募集！】
16歳から27歳までの方
高校生の時は部活動や受験勉強などで入団できなかった方
とにかくだんじりが好きな方
休日やる事がない方
少しでも興味ある方DMお待ちしております

#あまがたき #阿間河滝 #だんじり #青年団

10

青年団・市青協が抱える課題

青年団 ←→ 市青協

団員の減少
→ だんじり祭りにさえ参加する若者が減少傾向にある。
また、少子高齢社会のため若者の人口自体が減少している。

青年団に対する周りのイメージ
→ 岸和田の青年団のイメージを、よりよくする必要がある。
親が入団させない場合も。

役員のなり手不足
→ 青年団の団員減少に伴い、市青協の役員のなり手がなかなか見つからないのも課題の1つ。

団体活動の希薄化
→ 年間を通して、だんじり祭りに関連した様々な活動が、各町青年団で行われていることもあり、なかなか市青協として活動を展開しにくい。

11

地域に青年団があるということ

若者の“地域愛”について考える

岸和田市、自分の住む地域を「好き」「住み続けたい」と考える若者がどれだけいるだろうか？

地 域

青年団



若 者

青年団は地域と若者を繋ぐツール！
青年団を通じて、自分のまちを「好き」といえる若者が増えていけば・・・

青年団での活動は、若者のボランティア活動の機会を創出している。

その活動が地域の人と「繋がる」・地域の人を「知る」きっかけになる。

繋がることで自分のまちに愛着をもつ

12

岸和田市青年団協議会のこれから

○ 好きなことを全力で楽しむ

「好きなことからやれる」「楽しいからやれる」ボランティアでの活動はそういうものです。自分たちが好きなこと、興味があることを、どんどん普段の活動に取り入れていきたい。青年団協議会が「若者が好きなことをできる場所」になれるように活動を展開していきたい。

○ 地域から頼られる存在でいたい



災害のとき



祭りのとき

地域にとって「なんやかんやで頼りになる」集団でいたい。
青少年にとって「目をかけてくれるお兄ちゃん」であって、「困ったときに頼れる存在」でありたい。
そんな団体であるために、**地域で活動する色々な団体とつながっていきたい。**



amagataki_seinendan 【青年団員募集！】
16歳から27歳までの方
高校生の時は部活動や受験勉強などで入団できなかった方
とにかくだんじりが好きな方
休日やる事がない方
少しでも興味ある方DMお待ちしております

#あまがたき #阿間河滝 #だんじり #青年団

宮口 氏： ただ今ご紹介いただきました、岸和田市青年団協議会の会長をしています宮口です。隣は、僕の地元の阿間河滝町青年団副団長の植田といいます。本日はよろしくお願いします。

早速ですが僕らの活動を紹介します。そもそも「青年団」とはどういう団体なのかをお話しします。青年団は全国で組織されている団体で、そのルーツは室町時代まで遡るといわれています。青年団の活動目的は、一言で言うと、「若者の生活を豊かにする」ということです。スポーツや文化活動など、さまざまな活動を通じて、社会的・人間的に成長することで若者の生活水準の向上をめざしています。青年団の活動はその地域の実状に応じてさまざま、多岐にわたっています。

例えば、三重県熊野市の新鹿町(あたしかちょう)では、ビーチバレー大会。石川県珠洲市(たますし)の青年団協議会ではのど自慢大会、同じ泉州の泉佐野市青年団協議会では、田んぼなどで田植え体験などの活動を青年団が主導してやっています。このように、地域の特色を活かしたさまざまな活動が行われています。

では、岸和田市の青年団を見てみましょう。岸和田市青年団協議会、省略して市青協(しせいきょう)と呼んでいます。各町単位の青年団をまとめる地区ごとの連合青年団があり、その集合体として市青協があります。各地区の連合から何名か役員を出して、岸和田市全体の青年団の組織として運営しています。岸和田市青年団協議会の上に、府青協、大阪府青年団協議会があり、その上には、日青協、日本青年団協議会があります。

市青協は、昭和 26 年 9 月に発足し、現在 10 地区 64 町の青年団が加盟しています。青年団というものがどのようなものかを簡単に説明しましたが、皆さんは青年団にどのような印象を持っていますか？やはり岸和田市と聞いて、「だんじり祭り」を連想される方が多いと思います。地域で活動する青年団も、お祭りを中心とした団体になっているところがほとんどです。なので、ほとんどの方が「青年団は祭りをするための団体」というイメージではないでしょうか。

青年団の活動範囲は、決して「だんじり祭り」だけではなく、もっと多岐にわたっていいはずですが、しかしながら、やはり地域全体が「だんじり祭り」を中心に動いていることもあり、なかなかそのイメージを払拭できないのが実状です。では、お祭り以外にどのような活動があるかを見ていきます。

市青協のこれまでの活動として、毎年 6 月に各町青年団を中心に害虫駆除の薬剤散布を行っています。また、昨年の台風 21 号や東日本大震災の際には、災害の復旧支援として現地へ行きました。僕たちの先輩にあたる人たちが宮城県気仙沼市を訪問し、瓦礫(がれき)の撤去作業やだんじり囃子(ばやし)で現地の方を激励しました。昨年の台風 21 号では、大沢町・河内長野市で復旧作業を行いました。いざというときの青年団としての団結力を再確認できた現場でした。地域の若い力が青年団であると自覚した日でもありました。

また、人権研修や、選挙権が 18 歳以上に引き下げられたときには選挙の研修会を行い、成人式では各町の団長が新成人の新たな門出をお祝いしたりしています。市青協の活動を報告させてもらいましたが、各町の青年団も地域によっていろんな活動をしています。今回は、僕の地元の阿間河滝町青年団の活動について、ここで一度バトンを引き継ぎます。

植田 氏： ただいまご紹介いただいた、阿間河滝町青年団の副団長をしています植田です。

私からは、岸和田で当たり前の存在になっている青年団という団体について、阿間河滝町青年団を例にとり話をします。普段皆さんが持たれている、青年団の元気で勢いのあるイメージとは違う、問題など内面の実情についてお話して、少しでも最近の青年団について知っていただけたらと思います。少しの間ですが、ご清聴をお願いします。

主な活動内容は、岸和田の青年団は「だんじり祭り」のためにあるといっても過言ではないですが、他にも年間を通していろいろな活動をしています。阿間河滝町では、冬には夜警活動、岸和田市民駅伝の応援、春にはソフトボール大会、地域の清掃活動など、夏には旅行に行ったり、バーベキューや盆踊りをさせてもらっています。秋には「だんじり祭り」があります。年齢はばらばらですが、どこにも負けない、礼儀と元気のある青年団をめざして活動を楽しんでいます。

そんな青年団ですが、近年になりどこの町にも共通した大きすぎる問題を抱えています。それはこれまでに例をみない人数の不足です。私は現在、青年団 10 年目になりましたが、新参のときは 82 名いた団員が今では半分以下の 40 人弱になっています。たった 10 年で半数以下に激減しています。その原因として考えられるのは少子化もですが、生活の多様化、世間の青年団へのイメージにあると思っています。インターネットやスマホが普及し、若い世代の遊び方が大きく変化しているのではないかと考えています。青年団のように昔ながらの団体での行動や野外での活動からツイッター、インスタグラム、ユーチューブ、ネットやテレビゲームなど、気軽に楽しめるものに興味に変化していつていると思います。

もう 1 つは青年団のイメージの変化です。昔の活き活きした地域活性化団体とはイメージが違い、少しガラが悪い、お酒を飲まされる、みんながタバコを吸っているなど世間から評判の悪いことで、子どもが入りたくても入らせない親御さんが増えてきました。また、最近は塾など習い事をする団員も多くなり、両立が難しいという原因でやめていくという例も少なくありません。このままでは私は青年団の醍醐味である「だんじり祭り」の経営が難しくなるのも遠くはないのではと思っています。

今後の対策ですが、この大きすぎる問題を解決していくために、阿間河滝町の青年団では、これまでになかった対策へと動き出しています。それは、阿間河滝町の「だんじり祭り」のこれまでになかった方法でのアピールです。

やはり青年団は「だんじり祭り」をするものだと思われています。阿間河滝町の祭りに興味がなければ、団員も増えるはずがないと思っていまして、ネット社会を逆手に利用し、ツイッターやインスタグラム、ユーチューブなどに阿間河滝町ならではのだんじりの映像や、青年団の活動内容について頻繁に紹介させてもらっています。少しずつですが中学生や祭りの好きな人たちの間で、話題になったりしてきていて、少し嬉しいところです。活動内容についても見てもらうことによって、悪いイメージ、厳しいイメージも少しずつ変わっていくと思います。今回お配りしています、市青協の資料の最後のほうに、「青年団員募集！」のページにある QR コードを読み込んでもらおうと、活動内容などがユーチューブやインスタグラムで見られるようになっていきます。見ていただければ嬉しいです。長々と話してすみませんでした。

この場を借りて、皆さんにお願いがあります。青年団は決して悪い団体ではあ

りませんし、地域のために少数ながら貢献したいと思っている団体です。これからも、地域の方には迷惑をかけるかもしれませんが、温かく見守ってもらえると嬉しいです。それでは阿間河滝町青年団の話をここで終わります。

ご清聴ありがとうございました。

宮 口 氏： 今、各町の青年団の視点で話をしてもらいました。ざっくりとこんな感じで、今抱えている問題です。もちろん青年団が問題を抱えているということは、市青協にも問題が生じてきます。青年団の団員が減れば、僕たちの役員になってくれる子たちもいなくなり、団体も活動の範囲が狭まったりすることが懸念されます。僕たちはなんとかやりくりができていますが、次の代にバトンタッチするときに保てるか少し不安を感じています。

とりあえず、いろいろな問題を抱えながら 60 年以上やってきた団体ですが、僕たちの展望をお話します。

青年団活動は基本的にボランティア活動になると思いますが、若い人たちが地域に出てボランティアをする上で重要なのは好きか嫌いかだと思います。自分が楽しいと思えることだから、続けられる。そうでないとボランティア活動は難しいです。その中に楽しさや好きという気持ちを見出して継続することが望ましい。

また、地域の中で頼りになる存在でありたいとも思います。何かがあったときに一番力を発揮して、災害のときなど中心になって動いていくのを僕たちは理想としています。さっき植田くんも言ってくれたように、イメージの悪化など悩んでいますが、この子たちが払拭しようとしてくれている悪いイメージは、この子たちが作ったものではないです。今まで積み重ねられたイメージをこの子たちが変えようとしているんです。今、一生懸命変えようとしている悪いイメージは、この子たちのせいによるものではないんです。そこをちゃんとわかってあげてほしい。市青協、阿間河滝町青年団の発表は以上です。

ありがとうございます。

青 山 氏： ありがとうございます。今回、冒頭に元気になりましょうと言いましたが、青年団協議会の方には、しんどい部分や、今行き詰まっている部分をしっかりお話をしてほしいとお願いしました。その上で、積み上げてこられた先輩たちと若者たちがつながっていける部分があるのではないかと、感じていただけたと思います。お酒を飲まされとか、タバコを吸うなどの話がありましたが、今日お話しされなかった部分でもそういうことが無いように、最低限の社会的ルール、マナーを青年団の中でも伝えていこうと、努力を積み重ねておられます。

ぜひ、地域の皆さん方もこれから何か青年団と一緒にできることはないか考えていかなければと思います。どうでしょうか。

活 動 発 表

NPO 法人ここからKit with 岸和田 Mammy's サポーター＃きし♡ふぁみ

学び舎プログラム「まちづくり実践プロジェクト」のひとつとして、特定非営利活動法人ここからKit 主催の『ママたちがつくる「乳幼児連れのおでかけ MAP」』3 回講座が開催されました。この講座をきっかけに集まったママたちが「岸和田 Mammy's サポーター＃きし♡ふぁみ」として、自分たちのあったらいいな！を実現させるため、「便利で使える」MAP を作るだけではなく、様々な人とつながり学んで語り合いながら、知恵と情報を持ち寄って楽しみながら活動しています。

学び舎プログラム「まちづくり実践プロジェクト」とは？

岸和田市教育委員会では生涯学習の発展を目指し、学び舎プログラムという事業を実施しています。その具体的な施策のひとつが「まちづくり実践プロジェクト」です。これは、生涯学習を活かした地域課題を解決するための具体的な取り組みについて公募し、優れた提案に対して市民に事業を委託するものです。

NPO 法人ここからKit とは？

親子の主体性を育む子育て支援を通して、地域で子どもの笑顔がみえるまちを合言葉に「岸和田で安心して産み育てることができるまちづくり」を実現するために活動しています。ママ・パパそして子育ての大先輩たちでできる人が、できる時に、関わりながら私たちの「あったらいいな！」をかたちにしていく「場」を目指しています。



発表いただいたみなさん

左から 泉 氏、森本 氏、長谷川 氏、塩塚 氏、槇田 氏

いずみ まや

泉 真耶 氏

昭和 56 年 泉大津市生まれ

子どもの年齢：2 歳、0 歳

岸和田市で出産し、子連れで行ける場所を教えてもらったり、自分で探したりしているうちにいろんなつながりができ、今度は自分が何かしたいと思っているところで、おでかけ MAP づくりの講座をきっかけに活動を開始。

もりもと りょうこ

森本 涼子 氏

昭和 56 年 岸和田市生まれ

子どもの年齢：2 歳

結婚後、他県で生活していたが、夫の転勤で数年間岸和田市に戻る。

はせがわ ひでみ

長谷川 秀美 氏

昭和 36 年 岡山市生まれ

子どもの年齢：23 歳、20 歳、15 歳

20 年前に岸和田市に引っ越し、子育て中でも何かできることはないかと公民館活動へ。

その後、社会教育指導員から地区館館長を経て、子育て支援の NPO 法人ここから Kit を立ち上げ、現在活動中。

しおづか じゅんこ

塩塚 順子 氏

平成 2 年 島根県、安来市生まれ

子どもの年齢：2 歳半、0 歳

出産を機に岸和田市へ。

まきた さおり

槇田 沙織 氏

昭和 63 年 岸和田市生まれ

子どもの年齢：9 歳、8 歳、3 歳

岸和田市に住むママの輪や情報をもっと広がるといいなと思って活動を開始。

1



子育てが楽しくなる まちをつくろう！ プロジェクト

NPO法人ここからKit with
Mammy'sサポーター #きし心ふあみ

2

①団体が立ち上がったきっかけと これまでの経過

●団体設立のきっかけ
ここからKit主催の「乳幼児連れのおでかけMAP」講座を開催
(学び舎プログラムまちづくり実践プロジェクト)

・岸和田市には現在、育児情報に特化した情報誌がない
* 居場所を通して「育児情報」や「育児ストレス」の解消法の共有
* 子育てしながら社会参加ができることを伝えたい

本当の「子育てに優しいまちへ」



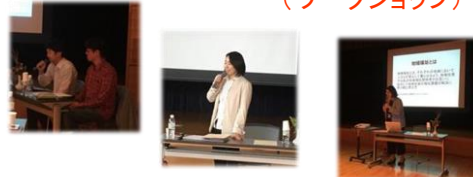
3

第1回 乳幼児連れのおでかけMAP & 子育て情報の循環づくり



4

第2回 きしわだってどんなまち？ (ワークショップ)



地域に支えられ、支えあう子育てをおこなうには、地域を知り、つながることが必要不可欠です。

5

第3回 つながって ふれあってコミットしましょう♪



6

3回までの話しを、みんなで共有して、
「私もやりたい！」「一緒にやりたい！」だれかとつながれば何かできるはず！
そんなワークショップでした。



7

各、グループの発表。 これからの想いをしっかり伝えてくれました。



8

Mammy'sサポーター #きし心ふあみ誕生！



9

②熱くなれる活動とそこにある「思い」

・これまで支援を受ける側だった母親が、支援の担い手として地域に参画。

・同じ子育て世代のママたちだから一緒に何かをするのもハードルが低く楽しく活動することで、長く継続できる。

・「自分たちがかつて味わった苦しみを、今味わっている人たちに手を貸したい。」



10

③子育て中の世代の人たちがまちづくりに 参加するにはどうしたらいいのでしょうか？

・岸和田に引越してきたママの
思い・・・重い・・・とは

・活動するうえでの「こんなサポートが
あったらいいな！」



11

④これからの きし♡ふあみが目指すこと

- 子育て中だからできる活動の強み
- 「子育て中だからこそできることを、やってみたい」
- どんなふうに仲間を増やしていくか



12

あったらいいな！が実現できる場所



13

みんなで子育て



興味のある話をみんなで学ぶ楽しさ
生教育・・・防災ママカフェ



14

いのちの授業 親子でふれあい交流



育児中の親子が地域社会へ
参加するきっかけとして学校を訪問します。

15

最後に



- 居場所を通して
ママ(保護者)たちのホッとステーションとして
親子の主体性を育む子育て支援を通して地域で
子どもの笑顔がみえるまちを合言葉に、地域全
体で「**岸和田で安心して子どもを産み育てること
ができるまちづくり**」を実現していきます。

青 山 氏：「子育て支援」とよく聞かれると思います。岸和田市でも子育てをしやすいまちにしていこうと、子育てサロンなどを実施している方々もたくさん地域にいらっしやると思います。

どうしても若いお母さんは支援を受ける側、助けてもらう側というイメージがありますが、今日来ていただいた皆さんは、私たちもまちのために何かできるのではないかと思っている方々です。

では、お話をさせていただきます。「岸和田 Mammy's サポーター#きし♡ふぁみ」の皆さんです。よろしくお願いします。

長谷川 氏： 皆さん、こんにちは。NPO 法人ここからKit 代表の長谷川です。そしてこちらにいるのが、「岸和田 Mammy's サポーター#きし♡ふぁみ」のメンバーです。

1 人ずつ、自己紹介をしますので、よろしくお願いします。

泉 氏： 泉です。2 児の母です。

森 本 氏： 森本です。2 歳の子どもがいます。

塩 塚 氏： 塩塚です。2 歳の子と、この 2 月に赤ちゃんが生まれます。

槇 田 氏： 槇田です。3 年生と 2 年生と、3 歳になる子どもがいます。

長谷川 氏： よろしくをお願いします。

団体が立ち上がったきっかけは、岸和田市教育委員会生涯学習課の主催事業、学び舎プログラム「まちづくり実践プロジェクト」です。そこから委託を受け、ここからKit が「ママたちがつくる乳幼児連れのおでかけ MAP」講座を開催しました。

岸和田市には現在、育児情報に特化した情報誌がありません。市が発行している子育て支援情報誌「みんなでこそだて」はあるのですが、掲載されているのは市の情報だけで、行政関係の場所では情報誌を手に入れられない状態です。

そこで私たち現役の保護者が、本当に求めている情報を集めた子育て情報誌を自分たちで作りたいと考えました。子連れでいける素敵なお店があっても、知らずに家にこもってしまっていたり、つらいとき助けて欲しいと思っても、どこに助けを求めていけばいいのかわからない。特技を活かして何かしたいが、どんな場所があるのか、使用できるのかなど、わからないことがいっぱいあります。こういった悩みをもつ保護者を対象に、育児情報や育児ストレスの解消法などの共有、子育てしながら社会参加できることを伝えたいと思いました。

本当の子育てに優しいまちになるには、子育て中の人たちが主体性を持って地域に参加することだと思います。これまでは一方的な支援だけで、本当に必要な支援なのか、現役の子育て世代の親たちの声が十分に反映されていないと思います。お互いが手を組めば、もっと素晴らしい、本当に子育てに優しいまちづくりになるのではと、このプロジェクトを考えました。

それではまず、この 3 回シリーズの講座についてお話します。

よろしくお願いします。

泉 氏： おでかけ MAP 講座が 3 回ありました。1 回目は、すでに活動されている NPO 法人さんなど 2 団体のお話を伺いました。素敵な活動内容を聞いて、こんなことがあるのかと驚いたり、自分たちにできるのかと不安になりながら、どんなことを

形にしたいかを考えて、それぞれの思いを書き出しました。

2回目は、和歌山大学岸和田サテライトコーディネーターの西田さん、友の会の楠本さんから、インターネットのマップデータの活用方法の話。また、別の方から、ブログでの発信について。岸和田市社会福祉協議会の青山さんから、福祉や地域でのつながりについてのお話を伺いました。さまざまなツールやその活用方法を教えていただいて、自分たちもできるのかなという気持ちになりました。

講座としては最後になる第3回目はどんな活動にしていくなか、意見を出し合って団体の名前を決めました。名前を決めたことで、ここから始まるんだなという気持ちになりました。名前は、「岸和田 Mammy's サポーター #きし♡ふぁみ」。「サポーター」は子育てをしている人を支える、支援するという意味です。「きし」は岸和田の「きし」、「ふぁみ」というのは、ママだけじゃなく、パパやおじいちゃんやおばあちゃん、子どもたち、ご近所さんも巻き込んでみんな含めてという意味で、ファミリーという言葉を使わせてもらいました。これで頑張っていこうというのが3回目でした。

森本 氏： 私が子どもを持つ前は、仕事や友人との時間が忙しく、地域との関わりはほとんどありませんでした。子どもができると仕事に行けず、それまでに親しかった友人も減って日常会えるのは家族だけでした。子育ては楽しかったのですが、こういう状態が続くと子育ての小さな悩みが解消されず、どんどん積み上がって苦しくなりました。

そんなときに初めて、今までは全く読んでいなかった「広報きしわだ」を読んで、保育園や公民館などでの子育ての集まりに参加するようになりました。同じぐらいの子どもを持ったママさんたちに出会って、育児のことを話す時間も持てましたし、子どもも刺激を受けたようで嬉しかったです。ただ残念ながら、1～2時間の集まりでは、落ち着いて育児の相談をしたり、何気ない会話を楽しむということが難しく友人はできませんでした。子どももそのときの機嫌で、レクリエーションにまったく興味を持たないこともあり、集まりに参加するために、朝からバタバタと必死で準備して、「疲れただけやったな」と思ったこともありました。

私は縁があって、ここからKitさんが運営されている常設の居場所に参加し、そこでは平日昼間の好きな時間にゆっくり過ごせました。お母さんたちと話しながら子どもの機嫌に合わせて遊んだり、寝かせたり、ご飯をあげたりすることができ、楽しみながらリラックスできました。他のママたちとは何度も顔を合わせるうちに、育児の相談というか何でも話せる友人になり、連絡をとっています。今も育児で悩むことはありますが、現在進行形で育児をする仲間がいることで、以前より安心して子育てできています。1人ではなかなか飛び込んでいきにくかった初めての親子向けの集まりなどにも、友達を誘って気楽に参加できるので、行動範囲が広がっています。

こんなふうに今一緒に育児をする友人ができて、楽しく過ごせているのはここからKitさんや、いろんなことを開催してくださっている地域のみなさんのおかげです。支援してくださっている方とお話すると、「昔、子どもを抱えて大変な時期があった」、「ママたちを応援しているよ」と言われます。本当にありがたいと思うと同時に、私も助けていただいた分、ほかのママを応援したいと思うよ

うになりました。はじめは自分の時間ができればいいかと思っていましたが、仲間やサポートがあるなら今参加したほうがいいと思い、「きし♡ふぁみ」に参加しています。常に子連れなので活動には制限がありますが、現役の子育て中だからこそ、他の子育て中のママ、パパの助けになると思います。というのも、今まで行政や地域の方たちにご支援いただいていたのですが、支援を受ける立場からすると、利用しにくいことがあったり、こんなことがあったらいいのにとすることも少なくなかったからです。子育て中に必要なものは、人それぞれ異なるので、現役の子育て世代が支援を受けるだけでなく、支援する側にもまわり、子育て中だからこそ自分が持っている意見や情報を反映させていけたら、より多くの方がもっと子育てを楽しめる環境をつくれるのではないかと考えています。

具体的に何をするかはまだ手探り状態ですが、そのスタートとして子育て MAP の制作を準備しています。この活動の成果を多くの子育て世代に役に立ててもらうだけでなく、この活動自体を参加者が楽しめるものとして、参加者を増やし、より多くの子育て世代の声を反映させた活動にすることが目標です。

塩 塚 氏： 東京から岸和田に引っ越してきて、いろいろなママと話をしてみると、私と同じように、子どもを産んでから岸和田に来たママがたくさんいました。それに加えて今の時代は里帰り出産のママも多く、産んで1か月や2か月後から、岸和田で子育てをスタートするママも多いです。岸和田は、そんなママが子育て情報を得るのにわかりにくいと思いました。岸和田が地元でない私は、友だちがいないので、友だちから情報を得ることができずどんどん孤立していきました。その頃の私のようなママが住みやすいと感じる岸和田のまちに、私たちでしていきたいです。

正直、岸和田の子育て支援は充実しておらず、子育てしやすい環境とは言えないと思いました。岸和田では出生率は高いのに、小学校に入学する頃に他の地域に引っ越す人が多いと聞いています。私は岸和田に家を買ったので、ずっと岸和田で住んでいきます。これからの岸和田市が、子どもがたくさんいて賑やかなまちになってほしいと思います。子どもが小さいうちに子育てしやすいとみんなが感じられたら、岸和田に残る人が増えるはずですよ。

私たち「きし♡ふぁみ」は、そんな岸和田をめざします。岸和田といえば、「きし♡ふぁみ」というのがあって、「子育て支援や活動が充実しているらしいね」、「子育てしやすいから引っ越したいわ」と思えたり、このロゴを見て、みんなが「見たことあるな」と、ネットで岸和田と入力したら、一番上に「きし♡ふぁみ」と出てくるようになることを目指して活動していきます。

槇 田 氏： 私は「きし♡ふぁみ」で、お出かけ MAP ももちろんですが、防災意識の重要性をみんなに広げていきたいと思っています。先日、防災アドバイザーの方の講座を受講して、南海トラフ地震が近づいていることを感じました。30年以内に地震が起こる確率は70%といわれていますが、それは今日この日も70%の状態です。たくさんの方の防災の話やテレビもありますが、それが果たして私たちの住むまち、岸和田に合っているかは疑問です。子どもたちを守るのは、いつも近くにいるママしかいないと感じました。実際に地震が起きたときに、いつも頼りにしている旦那さんやおじいちゃん、おばあちゃんがいるとは限らない。ママと赤ちゃんが2人きりのときに、起こることもあります。大震災が起こったとき、その場にいたマ

マや家族の話は想像を超えるものでした。いざ物資が届いても、いつもと環境が違うので、子どもたちがご飯を食べなかったりします。おうちで「ちゃんと机で食べようね」としつけている子どもさんは、いざ体育館で食べようとしても、机がないので食べることができないということもあると聞きます。なので防災グッズだけを集めるのではなく、いざ地震がきたときにどう行動できるかを練習するのも大切なことだと思います。

子どもがいるからこそ、用意しておくもの、どう行動するかを話し合い、身近に感じてほしいと思います。そしてたくさんの人に伝えたい、他人事では無く、もう身近に迫っていると感じてほしいと思います。よくうちのお父さんが、「そのときはそのときだから、もう諦めているねん」と簡単にいうんですが、家族のためにも諦めないでほしいと思います。私は岸和田のことをもっと知って、たくさんの人に伝えていきたいと思います。

泉 氏： 他の活動ですが、「いのちの授業 親子でふれあい交流」として地域の小学校と中学校に行ったときの写真です。育児中の地域社会に参加するきっかけとして、学校を訪問しますと書いてありますが、子育て中だからこそできる活動、他の人ではできない活動だと思います。児童・生徒たちにとってなかなか触れることが少なくなっているかと思う小さい子ども、赤ちゃんに触れ合う機会になっています。こわごわ抱っこしたり、抱っこもできなかつたり、一緒に遊んだりする中でそれぞれ何かを感じてくれたらと思います。

長谷川 氏： 最後ですが、子育てをする上で岸和田市にもっとこんなものがあったら良いなという保護者の声を出し、一緒に作成する過程の中で、地域の人たち、子育て支援団体、行政の人たちとコミュニケーションをはかる機会を作りたいと思います。今日は、このような場をいただき、ありがとうございました。

青 山 氏： ありがとうございました。今日は皆さん、打ち合わせのときから、「参戦します」とやる気満々で来ていただいていたいました。いろいろな今の子育て環境や、岸和田のまちの課題を当事者目線で語っていただけました。

一方、地域では防災がテーマになっていて、地域で防災をどうするかを考え、熱心に活動されている方がこの会場にもたくさんいらっしゃいます。そこで今のお話を聞いて、どんなふうに、お母さんたちの思いを地域の防災活動に組み込めるか、1つ参考にしていただけるのではないかと思います。

活 動 発 表

岸和田シティプロモーション推進協議会（kcp）

「まちへの思いが、まちを動かす。」、岸和田市を誇れるまちにするため市民・企業が主体的に集まり、平成 28 年 5 月に発足しました。行政などからによる補助金など公的支援を受けずに、市民の手によって自律的に誕生しました。国内外に岸和田の魅力を知ってもらうために、地域資源活性化委員会、地域事業推進委員会、ソーシャルサポート委員会、広報・財務委員会と 4 つの委員会が設けられ、それぞれ独自に事業推進しています。今ここにある資源を活かし輝かせるために、地域の様々な団体と多面的につながっていき、岸和田をもっと“ええまち、誇れるまち”にしようと活動しています。



岸和田シティプロモーション推進協議会

会長 ささべ みちよ 笹部 美千代 氏

【プロフィール】

岸和田生まれ、岸和田育ち

平成 8 年 5 月 ローズキャリアスタッフを設立

平成 28 年 5 月 kcp 設立、会長就任 現在に至る

岸和田市の懇話会や様々な団体に関わっていくうちに、市内には沢山の団体組織があり、地域のために何か役立ちたいと思っている市民の方が沢山いらっしゃる事を知りました。

今は、点で活動されている団体同士が垣根を越えてつながれば、もっと大きな楽しいことができる。そんな点と点をつなげられるプラットフォームとしての役割を担える団体を作りたいと考えました。

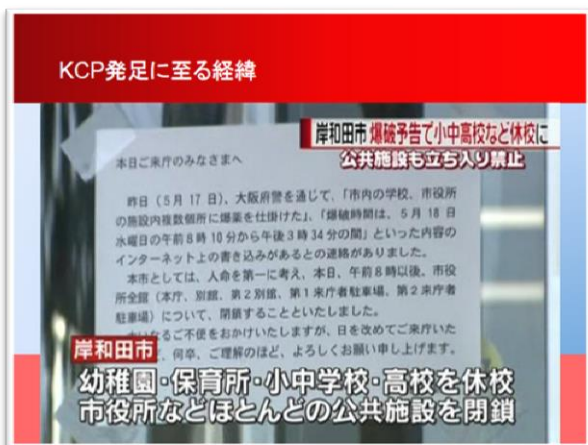
1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11



12



13



14



15



16





青 山 氏： 今回のつどいのテーマ、「つながろう すべてを越えて」を考えるにあたり、岸和田にはすばらしい団体がたくさんあり、みんなそれぞれ頑張っているが、他所に比べると地域の活動は点と点のままでつながっていないという話がありました。これからご登場いただく、岸和田シティプロモーション推進協議会は、その課題意識をすごく持っておられます。シティプロモーションというのは、まちの魅力を市の内外に発信するという意味合いがあって、他市では行政が主導でそのような会議を立ち上げ、ボランティアグループになっていただくことが多いですが、岸和田はひと味違い、民間発信です。

では、岸和田シティプロモーション推進協議会の発表をお願いします。

笹 部 氏： 皆さん、改めまして、こんにちは。岸和田シティプロモーション推進協議会の会長です。よろしくお願いします。

岸和田シティプロモーション推進協議会、略して kcp は、市民・企業が一体となり、岸和田を誇れるまちにしたいという思いで集まりました。

私たちが住むまち岸和田は、泉州の中で最も大きなまちであるというプライドがありました。しかし、市外への流出による人口減少、産業や商業の悪化による経済の低迷、外国に一番近い城下町とうたってはおりますが、観光客の取り込みや観光産業がまだまだ伸びていない状況、また日本が抱える高齢化問題や、住みやすいまちづくりなど、さまざまな課題があります。それらを解決すべく、市民・企業・官が垣根を越え、解決への仕掛けづくりが必要ではないかと考え、賛同者を集めてまいりました。

やっと設立を迎えたその日、平成 28 年 5 月 18 日は岸和田市内に爆破予告のあった日と重なってしまいました。予定していた場所も当然立ち入り禁止で、使用できなくなりましたが、急遽、時間と場所を変更し、無事に設立総会を行うことができました。仕事の関係で、発起人全員は出席できなかったのですが、喜びにあふれたみんなの笑顔をご覧ください。

kcp は 4 つの委員会で構成されています。岸和田独自の資源を活性化するため、観光推進やイベントの企画を行う地域資源活性化委員会。岸和田独自の事業を振興させ、地域資源のブランド力強化や企画・運営を行う地域事業推進委員会。住みやすい、住み続けたい街づくりのため、さまざまな困りごとや地域課題の解決に有効な事業の運営支援を行うソーシャルサポート委員会。この委員会は、特に kcp の特徴を象徴しています。kcp の取り組みや参加者を拡大するための広報活動と諸団体との情報共有を図ったり、財務を管轄するための広報・財務委員会。このように 4 つの委員会がそれぞれに活動をしたり、またつながって活動を行っております。

kcp が行ってきた事業・活動について紹介させていただきます。まず、地域事業推進委員会が、NPO 法人ドゥールースさんからご提案いただいたサイクルパーティーです。春木競輪場横にはサイクルピア岸和田があり、そこではオリンピック選手を夢見て、BMX の練習場があります。小さな子どもがブレーキのついていないランバイクを上手に乗りこなし、競技が行われています。岸和田の名店のブース出店と、春木若松町のだんじり太鼓や、ダンスやイベントでのお手伝いをさせていただきました。また、今年度はバージョンアップした形で競輪場にまでも

広がってサイクルパーティーが開催されました。我がメンバーが、なんとトラックをママチャリで走行もいたしました。これはきっと世界初ではないかと思えます。

ソーシャルサポート委員会では、毎年夏に行われる岸和田港まつり花火大会においてバリアフリー観覧席の社会実験を行いました。車いすの方 17 名、知的障がい者の方 2 名、介助者、親御さんやお子さん、総勢 40 名の方にご参加いただき、その後実施したアンケート結果から、ゆっくりと楽しんで見ることができたなど、非常に高い満足度を得ることができたとわかりました。

岸和田市広報広聴課さんよりシティセールスに協力をというお声掛けをいただき、2 回開催されたワークショップで kcp メンバーも参加して市の職員の方々と共に岸和田の魅力を絞り込むため、それぞれの思いを話し合いました。シティセールス動画撮影での出演協力や冊子掲載の協力を行っております。このおかげで、kcp からたくさんの俳優やモデルさんが誕生しました。このことから広報広聴課さんとのつながりが生まれました。車いすユーザーも楽しめる岸和田祭実行委員会に参画し、協賛企業の募集担当を担い、kcp も広告協賛をしました。その結果、毎年印刷 5,000 部を 1 万部に増刷することができました。

NPO 法人ファザーリング・ジャパンさんから岸和田の企業が働きやすい・子育てしやすいまちづくりのため、イクボス宣言企業の協力とイクボスフォーラムの参加要請を行っております。kcp にとって 1 年の締めくくりとして、去年 3 月 5 日に「KISHIWADA-X」を開催いたしました。初めての主催イベントであり、「はぐくむ」をキーワードとして、全国トップクラスの BMX コースを持つサイクルピア岸和田がこのまちにあることを踏まえ、世界トップクラスのスケーター及びライダーたちのパフォーマンスを体験していただき、子どもたちの未来の夢をはぐくむことができればと思い、海の幸にあふれた「みなとマルシェ」で企画いたしました。

発足して間もない団体であるため、資金のない中、メンバー全員が手弁当で汗をかきながら、バナー広告などの協賛を集め、皆様の協力を得て開催に結びつけることができました。また南海岸和田駅前の観光案内所、JR 東岸和田駅にポスターを配置し、新聞・テレビ・ラジオといった各メディアにも取り上げていただくなど、幅広く周知活動を行いました。ハーフパイプショーの合間では、ショーに出演するプレイヤーと子どもたちとの触れ合いがあったり、出店いただきました各ブースやランバイク体験など、さまざまな形で 1 日を楽しんでいただくことができました。同時に開催した「しゃべり BAR」では、ディアローラ様から協賛品としていただいたマニキュアのつかみ取り付きアンケートを行い、岸和田市のイメージ調査も同時に行いました。広報広聴課の方々にもご参加いただき、シティセールスの PR に出店されていたのですが、結局マニキュアのつかみ取りが忙しくて、ほとんどお手伝いをいただき、共に汗を流した 1 日でした。この「KISHIWADA-X」においては 40 ブースの出店協力をいただき、来場者数は 3,000 名以上となりました。またアンケート結果から、岸和田市外から 51% という来場者比率であったことがわかりました。

どのような催しを計画し、どのように広報活動を行うことでどのような集客が見込めるか、観光のインバウンドに通じるよい勉強をさせていただくことができ

ました。「KISHIWADA-X」を企画し、実現できたことで自信をもって、また、流した汗の分以上の充実感と満足感あふれた1日を送ることができました。

8月には、連携していただいている岸和田青年会議所主催のウォーターフェスに参加し、ヨーヨーつりのブースを出店しました。たくさんの子どもたちの来場で、すぐに売り切れとなり、当日参加者も5,000人以上と夏の暑い楽しい1日でした。

また、10月20日には、岸和田市とkcpがシティセールスの推進にかかるパートナーシップ協定を締結いたしました。設立から1年5か月、メンバーの思いでいろんな仕掛けづくりを行いました。その結果、少しずつですが何かが変わり、まちも動きだそうとしています。共に汗を流すパートナーとして、それぞれの特性や資源を活かしあうための協定です。

12月は広報・財務委員会の提案により、まちづくりをされている団体さんに声掛けをしてお参加いただき、大阪市大正区のアクティブなまちづくりを学ぶ定例会を企画いたしました。内山副区長のお話は会場内のみんなが聞き入ってしまうほどの熱い思いが伝わり、その後の質問でも、つい本音を話して頂いたり盛り上がった定例会でした。

岸和田の山手地区にある、平成27年に世界かんがい遺産に選ばれた「久米田池」をはじめとする歴史遺産や文化遺産をどう周知してもらうかを考え、「ロゲイニング」というスポーツに注目し、3月11日「岸和田わくわくロゲイニング」を開催いたします。スポーツはもちろん、ファミリーでも参加しやすいように、「ちきりくんからの挑戦状」といった謎解きもあり、お楽しみ抽選会もありと楽しい1日を計画しています。本日お越しの皆様のご参加をお待ちしております。今日ここには、kcpのメンバーが全員来ておりません。kcpの動画で、皆さんの顔を見ていただけたらと思います。

♪～(動画上映)

みんな、いい笑顔をしていますでしょうか？仕事をしながらkcpの活動を行っています。活発な意見を出しながら何かをするために取り組んでいます。現在メンバー105名です。しかし、メンバーの思いと行動は、その何十倍にも匹敵すると思っています。これからも、たくさんの汗とできる限りの知恵を出して、自分たちの住むこの岸和田をええまち、誇れるまちになる活動を進めてまいります。「まちへの思いが、まちを動かす」ために。ご清聴ありがとうございました。またよろしくお願いします。

青山 氏： 熱いメッセージをありがとうございました。青年団はだいたい10代～20代、子育て中のお母さんたちは20代から30代です。Kcpメンバーの年齢幅は広いです。私自身はプライベートで関わらせていただいているのですが、多彩な方たちが集って、まちをつないでいこうというメンバーです。

これで3団体の実践報告が終わりました。3団体の皆さん、どちらにいらっしゃいますか？もう一度感謝を込めて拍手をしたいと思います。皆さん、ありがとうございました。

茶 話 会

《茶話会を始める前の呼びかけ》

青 山 氏： では、このあと皆さんにも参加していただいて、今日は先輩方もたくさん来ていただいているので、ぜひ、世代をごちゃ混ぜにして、交流をしていきたいと思っています。できれば6人1組ぐらいで、これからお話をしていきたいと思います。ぜひ若い人たちの声を聞いていただきたいと思います。先輩方もご協力をいただきたい。6人1組です。ちょっと混ざったかなという感じになったら、座ってください。だいたい結構です。7人でもいいです。推進本部の委員の皆さんも、お声掛けしながら混ざってください。グループができたところ、茶話会ですので、お茶を後ろにしています。セルフサービスです。

皆さんのお手元に自己紹介カードがあると思います。書いてきてもらっていますか？書くところが4つに分かれています。普段どんな活動をしていますか？活動発表の感想。今日の話聞いて一番印象に残ったのはどんなことですか？やっていて楽しいな、自慢やなこと、最後に今困っていることをちょっと書いていただけますか。そんなに長文じゃなくてもいいです。キーワードだけ、ひと言で結構です。書いてください。簡単で結構です。喋りながら補足していただければいいので、1人ずつ、今から15時25分くらいまでグループでお話し合いをしていただきます。

その後の話をしておきます。今日のつどいは15時半までです。茶話会というかたちでグループに分かれ、ゆるくやっていただいて結構です。いろんな方と交わりたいという方、物足りないという方のために16時までこの会場を開けています。そこからはフリーの交流会として、この会場を使っていただきます。そういう時間もあるよと、皆さん考えていただけたらと思います。各グループに、推進本部の皆さんもいると思いますので、お話し合いを始めてください。

《グループに分かれて茶話会》

《まとめ》

青 山 氏： 皆さん、いかがでしょうか？予定をしていた25分をまわりましたが、喋っていない人は、おられないですか？一言ずつ、話していただいたでしょうか。盛り上がってきたところで終わってしまうのが、茶話会の定めなところですね。

皆さん、本当に今日はありがとうございました。最後時間が短かったのですが、登壇された方以外にも、岸和田のまちのために活動している方たちと、語り合っていたかと思います。皆さんにご協力いただき、スムーズに進行することができました。登壇された若い皆さんも話を聞いてみると、先輩方も何十年前も同じような思いをしていたり。

今日「こんなこと困っているねん」ということをいろいろ出していただいたのですが、困りごとに対して、「そんなんやったら、うちで助けられるよ」とか、「練習場所がない」とか久米田高校のダンス部の方が言ってましたが、「それならうち

で貸したるわ」とかいらっしゃいましたら、強みと弱みが掛け合わされると、弱みを克服できますし、強みはより強くなっていきますので、そういう話をぜひ、この後もつながっていただいてお話できればと思います。

いったん、ここで締めたいです。ぜひ皆さん、アンケートをご記入ください。試行錯誤をして新しいこともやりましたので、アンケートのご記入をぜひお願いします。いったん、これで平成 29 年度の「いきいき市民のつどい」を終了します。

登壇者の皆さん、発表していただいた皆さん、参加していただいたすべての皆さん、お疲れさまでした。拍手で締めたいと思います。

本当にありがとうございました。

(拍手)

《終了》

資 料 編

●アンケート集計結果

●自己紹介カード集計

●第 20 回「いきいき市民のつどい」チラシ

アンケート集計結果

(64 枚／106 人)

久米田高等学校 45 人含まず

1. あなたの性別 (男 28 人・ 女 35 人)

年齢 10 代 2 人・20 代 6 人・30 代 8 人・40 代 9 人・50 代 10 人・60 代 15 人・70 代 12 人

2. この「つどい」は、平成 10 年度にはじめて開催されてから今回で 20 回目となりますが、あなたは通算して何回目の参加になりますか？

A. 初めて 30 人 B. 2 回～4 回 13 人 C. 5 回以上 19 人

3. この「つどい」に参加されたきっかけはなんですか。

A. 市の広報・チラシ等を見て内容に興味を持った 12 人 B. 友人・知人に誘われた 26 人

C. 発表団体に興味を持った 4 人 D. 久米田高校ダンスを見てみたい 2 人

E. つながりを作りたい 5 人

その他ご意見

- ・所属団体の会議 (2)
- ・きしわだのメンバーになりたかった。
- ・所属団体の役員、メンバー (2)

4. 活動団体の発表内容は、どうでしたか？

A. よかった 52 人 B. ふつう 9 人 C. よくなかった 0 人

その他ご意見

- ・青年団の発表がよかった。
- ・若い方々の活動の声に、次代を担う人たちの意欲に、どう一緒に、何ができるかを考えました。

5. 茶話会は、どうでしたか？

A. よかった 45 人 B. ふつう 11 人 C. よくなかった 0 人

その他ご意見

- ・もう少し茶話会がしたかった。
- ・若い人との話がよかった。(3)
- ・席の移動で時間をとった。
- ・声が聞こえにくかった。

6. 時間は長かったですか？短かったですか？

A. 長かった 4 人 B. ちょうどよい 45 人 C. 短かった 10 人

その他ご意見

- ・アッという間に終わりました。
- ・茶話会が短かった。

7. 講演等、希望されるテーマや形式がございましたらご記入ください。

- ・子どもの居場所・農業をもっと知ってほしい
- ・岸和田市内の色々なテーマをもっとしてください。
- ・義務教育後の学習や生活のサポートをどうするか。
- ・人間学講座

8. この「つどい」についてのご意見、ご感想等があればなんでもお書きください。

- ・高校生とお話させていただいて、元気をいただきました。(3)
- ・「つどい」のことを知らない人が多いと思うので、もっと知ってもらうことをしてほしい。(2)

- ・つながりを大切に。つどうことの大切さ・力・機会をこれからも大切にしていってほしいです。
- ・いろいろな人たちがつどうこの「つどい」が、新しいつながりや出会いになるように続けてほしいです。
- ・とても良い「つどい」だと思います。
- ・いろいろつながるきっかけになるといいなと思います。
- ・近くでダンスを見ることができてよかった。
- ・きし♡ふあみを初めて知りました。
- ・kcp は行政がしていると思っていました。
- ・いろいろ知ることができてよかった。
- ・来てよかったです。
- ・初めて参加して、このような活動を知ることができてよかった。
- ・久米田高校のダンスに感動しました。これからも頑張ってください。(2)
- ・若い方がきてくださって、とてもよい会になったと思います。(2)
- ・青年団の活動状況がわかってよかった。
- ・久しぶりの参加でした。今回は茶話会形式で話しやすかったと思います。若い人の参加もあり、短い時間でしたが交流できました。
- ・貴重な体験ができ、とても勉強になりました。
- ・とても有意義な時間でした。
- ・楽しかったです。
- ・要約筆記と発表資料が同じ画面に表示されているのがよかった。
- ・市青協の方々が頑張ってくれている。タバコがダメになれば親としても子どもにだんじりに関わらせてやりたい。

9. どのような生涯学習活動に取り組んでいますか？ あてはまるものすべてに○をつけてください。

- A. 趣味的なもの 13人 B. スポーツ 17人 C. 家庭生活に役立つもの 7人 D. 健康 7人
 E. パソコン、インターネット 3人 F. 福祉 8人 G. 環境 3人 H. ボランティア 16人
 I. 育児、教育 10人 J. 語学 2人 K. リサイクル 1人 L. 自然体験、アウトドア 6人
 M. 社会問題 6人
 N. その他
- ・人付き合い
 - ・農業
 - ・他企業交流

10. 生涯学習をしていて、困ったことがありますか？ あてはまるものすべてに○をつけてください。

- A. 時間のやりくり 22人 B. 費用がかかる 7人 C. 施設が遠い 6人
 D. 情報が分からない 9人 E. 施設が使いにくい 2人 F. 場所がとれない 2人
 G. 利用手続きや講座の申し込みが面倒 1人 H. 仲間がいない 0人 I. 周りの理解がない 3人
 J. きっかけがつかめない 3人
 K. その他
- ・人手不足
 - ・使用しているのに飲食ができないこと
 - ・人と人とのつながりを広げたり、深めたりすることが難しい。
 - ・生涯学習に係わる職員はもっと市民と話し合い、市民の声を聞いてください。

自己紹介カード集計

(55 枚/106 人)

●今日の活動発表の感想 ●一番印象に残ったこと

- 市青協について (26)
- きしファミについて (16)
- kcp について (6)
- 久米田高校ダンス部について (11)
- 全体の感想 (48)

いろいろな活動を知ることができた (19)
みなさん岸和田に対して熱い (6)
いろんな人と話せて貴重な体験でした、楽しかった (5)
それぞれの立場で頑張っている人がいるのが素敵 (2)
岸和田がもっと好きになりました (1)
茶話会すごくいい機会でした。他の団体とコラボしたい (1)
若い人たちが発信したいと思っている (1)
若い人から年配の人まで意見が聞けてよかった (1)
発表すごいです (1)
参加してよかった (1)
良いところを今後に生かしたい (1)
プレゼンのしかた (1)
自分たちももっと岸和田を盛り上げていこうと思った (1)
色々な団体の話が聞けることでつながれると思いました (1)
全ての発表は今後市を根底から考え直す必要がある (1)
発表者の照明が不足 (1)
産業誘致は今後重要 (1)
遊びの多様化で団体面倒 (1)
地域のつながりが薄くなったと感じる (1)
人は一人で無理やから、地域で何かするには個々がやるべきことをしないと無理 (1)

●やって楽しいこと・やりがい ●ちょっと自慢できること

- ボランティア活動について

常に社会に接して貢献できる喜びを探す (健康づくり) (4)
社会人として活かせる事 勉強できることがある (2)
募金・寄付 (2)
子育てサロンお手伝い (1)
町内美化活動・夜間パトロール (1)
他の人が人に尽くすことを楽しくやっているのを見るといろいろ教えられる (1)
年齢を忘れ先入観を持たず、今できる行動に自信を持って取り組むことが楽しい (1)

○つながりについて

人との出会い・つながり（7）
できるだけ沢山の団体に顔を出す（1）
どんなことができるのか、みんなで話している時が楽しい（1）
年配の人との話合い（1）

○地域活動・公民館活動等について

親子の笑顔が見ることができる、子育てママとおしゃべり（活動）（5）
公民館・クラブ活動等（5）
「こんな場所があってよかった」と言ってもらえたとき（2）
赤ちゃん訪問子育てサロン、子育て（2）
祭礼を無事に成功させたとき（1）
上下関係がよく色々な所へ行ったり経験できること（1）

○趣味・その他について

子どもたちの成長ぶり（少林寺拳法での成長ぶり）（4）
野菜づくり（2）
アウトドア 体を動かすこと（水泳・ズンバ）（2）
和服・手芸など（2）
イベント、新たにつくり上げる活動は楽しい（2）
国産の綿の活用の先進事例（1）
仕事も家事も楽しんでいます（1）
好奇心が強いこと 岸和田が好きなこと（1）
字を書くのが得意（1）

●活動で困っていること

人手不足・担い手不足（18）
スタッフの高齢化、若い世代の参加がない（7）、
忙しい、時間のやりくり（2）
資金（1）
学ぶ場がない（1）
指導の難しさ（1）
農業に対しての認識不足（1）

●今後やってみたいこと

いろいろな人とひとつのテーマでつながると楽しいかも、地域を盛りあげたい（3）
大勢で青年団の行事に取り組みたい、大勢でする楽しい祭り（3）
防災訓練、防災ラジオの設置（2）
習い事や勉強（2）
きし♡ふぁみの活動の充実（2）
子どもたちの育成、明るい町会（2）
新住民 PTA で地域に入った 子どものクラブで保護者とつながった
こうやって係わるのを楽しいと思った。こんな世こそ青年団にも通じる（1）

自己紹介カード集計（久米田高等学校ダンス部）

(37 枚/45 人)

●やって楽しいこと・やりがい ●ちょっと自慢できること

踊っているとき（12）
喜んでもらえたとき、声をかけてくれたとき（拍手をもらえたとき）（10）
踊ることと日々少しずつ成長していくことが楽しい（5）
練習の成果が大会で出たとき（大会で入賞した時）（3）
人に伝わるダンス、切れるダンスができたとき（2）
人として成長できること みんなと一緒に踊ること（2）
一生の仲間（何でも話せる仲間）ができた 強くなれる 一生の宝物になる（2）
団結して踊ったり、お互い気持ちを高めあったりすること（1）
地域の方や家族に応援してもらえてること（1）
親子の笑顔に癒される 仲間ができる（1）
お菓子作り、ピアノ（2）
食べること、すぐ寝られること（2）
体が柔らかい（1）

●活動で困っていること 久米田高校ダンス部

練習場所がない・少ない・狭い（12）
体力がない（6）
体が硬い・体が動かない（2）
睡眠時間がない（2）
切り替えが遅いこと（1）
勉強との両立（1）
覚えること（1）
お金がない（1）

●今後やってみたいこと 久米田高校ダンス部

日本一になりたい、USJで踊りたい（大会で1位をとりたい）（6）
「くめだんす」を知ってもらおう・広めたい（4）
いろんなジャンルのダンスを踊る（3）
地域の人全員でくめだんすを踊る事、地域の方々と係っていききたい（2）
いろいろな高校ダンス部と交流したい（1）
100人以上で踊りたい（1）
タウンミーティング 市長と子育て世代のぶっちゃけトーク（1）

第20回

いきいき 市民のつどい

熱くなれること、ありますか？

つながろう すべてを越えて ~共に学び、語りあおう~

平成30年 1月27日(土)

午後1時30分~午後3時30分

産業会館 (別所町3丁目13-26)

どうして熱くなれるのか!? 岸和田のまちを盛り上げるために活動されている3つの団体が、日ごろの活動の思いをみなさんに届けます!

後半では、カフェ気分で気軽にまちづくりや担い手づくりについてみんなで語りあいましょう! みなさんぜひご参加ください。

【オープニング】 久米田高等学校ダンス部のみなさん

【発表団体】

●「子育てが楽しくなるまちをつくろう」プロジェクト! チーム

NPO 法人ここからKit 主催の「乳幼児連れのおでかけMAP」の講座で集まったママさんたちが「自分たちのあったらいいな!」を実現するためにただ今、奮闘中! です。

●岸和田シティプロモーション推進協議会 (kcp)

岸和田市を“ええまち”“誇れるまち”にしようと市民・企業が繋がり汗をかき、知恵をしぼって活動をしています。

●岸和田市青年団協議会

「自分たちのまちを元気にしたい! 若者たちのよりよい未来のために!」
熱い思いで、青少年の健全育成や地域社会への貢献に取り組んでいます。

【コーディネーター】 あおやま おりえ 青山 織衣さん

(岸和田市社会福祉協議会)

参加費
無料

主 催 : 岸和田市・岸和田市教育委員会

企画・運営: 岸和田市生涯学習推進本部

●問合せ・申込みについては、裏面をご覧ください!



締切：平成 30 年 1 月 12 日（金）

電話、窓口でのお申し込み・問い合わせは

生涯学習課（市立公民館内）堺町 1-1 TEL：423-9615～6

受付：12/29～1/3、月曜日・祝日以外の午前9時～午後5時30分

電子メールでのお申し込みは

syogaig@city.kishiwada.osaka.jp まで →
件名に「いきいき市民のつどい申し込み」、
本文に氏名、住所、電話番号、保育、手話通訳、
要約筆記希望の有無をご記入の上、送信してください。



申込先
メールアドレス

FAXでのお申し込みは 下記申込書にご記入の上

市立公民館 FAX：423-3011 まで

- ✧ 保育（1歳半～就学前児童、先着15人）、手話通訳、要約筆記をご希望の方は、丸印をご記入ください。
- ✧ 保育をご希望された方には生涯学習課より、お子様の名前と年齢等を電話にてお伺いいたします。

平成 29 年度 第 20 回いきいき市民のつどい 申込書

※所属団体がありましたら、できるだけご記入ください。 ↓希望の方は○印

[illegible]

平成 29 年度 第 20 回 いきいき市民のつどい
つながろう すべてを越えて ～共に学び、語りあおう～

日時：平成 30 年 1 月 27 日（土）午後 1 時 30 分～3 時 30 分

場所：市立産業会館（別所町 3 丁目 13-26）

参加者 151 名 保育児 5 名

手話通訳・要約筆記申込なし

文字通訳者 4 名（大阪ろうあ会館）



第 20 回 いきいき市民のつどい 記録集

発行・編集：岸和田市教育委員会生涯学習部生涯学習課

所在地：〒596-0072

大阪府岸和田市堺町 1 番 1 号 岸和田市立公民館内

電話 072-423-9616(直通)

発行年月：平成 30 年 3 月



岸和田市生涯学習推進本部は、生涯学習のまちづくりを市民ぐるみで推進するために設けられ、委員は次の各団体から選出されています。

岸和田市 PTA 協議会、岸和田市こども会育成連絡協議会、岸和田市文化協会、
岸和田市体育協会、岸和田市社会福祉協議会、岸和田市民生委員児童委員協議会、
岸和田障害者・児関係団体連絡協議会、岸和田女性会議、岸和田市医師会、
岸和田商工会議所、岸和田市町会連合会、岸和田市中学校校長会、学識経験者、
岸和田市、岸和田市教育委員会 （順不同）